

水産試験場が実施しているニシン漁獲物調査において得られた情報について、随時お知らせしています。

石狩湾漁協厚田地区と石狩地区の青年部が、3月28日と4月4日にそれぞれ実施しました「ニシン漁期終了後試験調査」の結果をとりまとめました。前浜において5種の目合（1.6寸、1.8寸、2.0寸、2.2寸、2.3寸）を用いてニシンの試験操業を行いました。

【結果】

採集状況(右表)

今年度も両地区ともに、分析に十分なデータを取得することができました。厚田地区では1.8寸目と2.0寸目による漁獲が同程度に多く、石狩地区では2.0寸目の漁獲量が多くなりました。

表 採集物の内訳

		1.6寸	1.8寸	2.0寸	2.2寸	2.3寸
厚田 (3月28日)	漁獲重量kg	17.6	41.3	39.2	—	—
	漁獲尾数	109	241	179	—	—
	平均尾又長mm	246.6	248.6	264.2	—	—
	平均体重g	161.2	171.7	219.1	—	—
石狩 (4月4日)	漁獲重量kg	11.5	81.7	175.6	0.2	41.2
	漁獲尾数	76	471	865	1	155
	平均尾又長mm	247.8	259.2	269.4	270.0	289.8
	平均体重g	150.9	173.5	202.9	230.0	265.6

魚体と年齢(下图)

漁獲の多かった1.8~2.0寸目で漁獲の中心となったのは3年魚（2014年級）でした。今シーズン、終盤の漁獲を久しぶりにのぼした3年魚が漁期終了後の今も依然として多く来遊しているとみられます。昨季の漁期後調査ではこの2014年級群が2年魚として1.6寸目による漁獲を大きくのぼしたのに対し、今季の調査では2年魚はさほど漁獲がありませんでした。

成熟状態

漁獲物の成熟状態は、1.6~1.8寸目では雌雄とも完熟個体とヌケ（産卵後）個体の割合が半々で、2.0寸目以上では多くが完熟状態でした。同じ尾又長でも産卵後の個体は体が細いため2.0寸目より1.6~1.8寸目に刺さる傾向がみられました。3年魚の産卵は今ピークを迎えているようです。

今回の調査結果からも、現在の網目規制（2.0寸以上）によって2年魚の大半と3年魚の一部が次年度以降の漁獲対象として獲り残されうえに、操業の早期切り上げが着実に産卵親魚の保護と次世代の生産につながっていることがわかりました。比較的資源量が多いとみられる2014年級主体の3月漁期を今シーズンも早期に切り上げたことで、来年はこれが4年魚として2月盛漁期の中心となっていくことや、2017年級の豊度にも期待が高まるところですので、今後の各種調査の結果を見守っていきたいと思います。

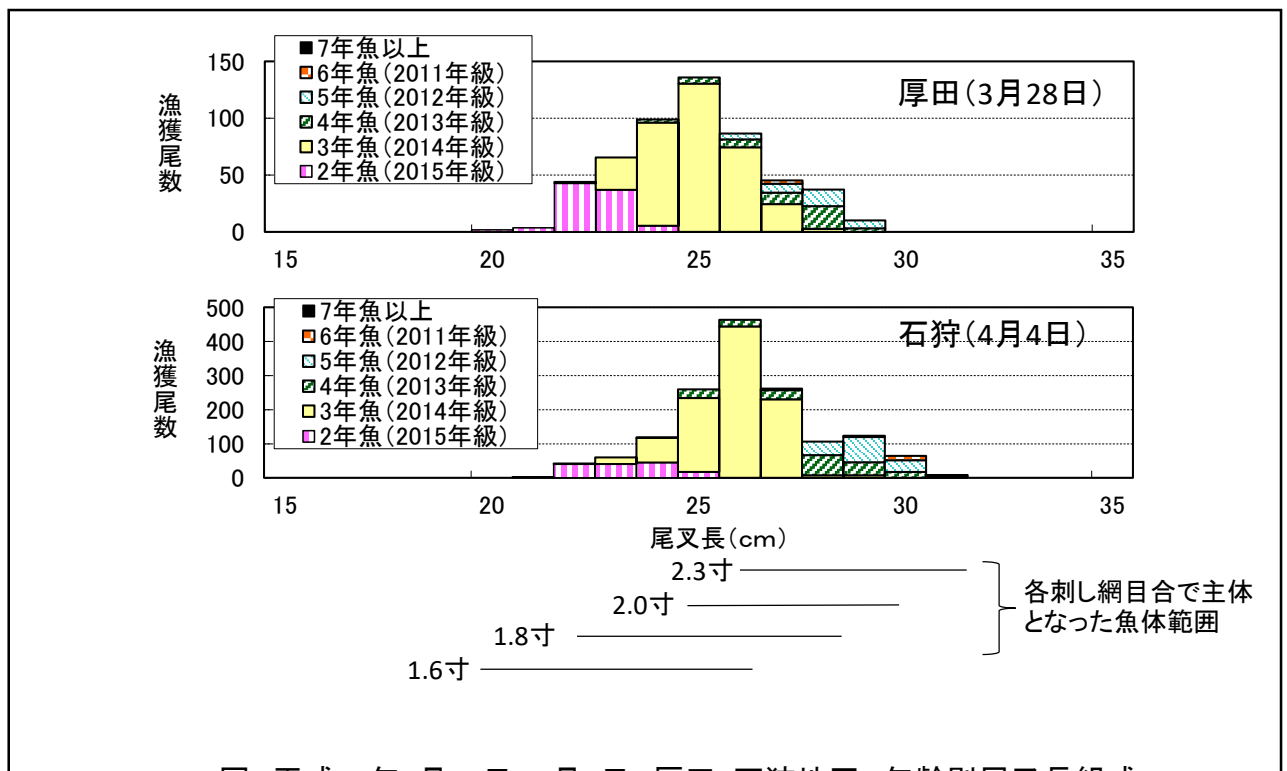


図 平成29年3月28日、4月4日 厚田・石狩地区 年齢別尾又長組成